

身近な議会を目指して…

かみふらの 議会だより



NO. 80

2013.10.25 発行



『東中中、東中小、江幌小で
合同の稲刈り』



contents

第3回定例会 各会計補正予算を原案可決ほか……………	P2
一般質問 「福祉灯油に代わる施策を」 など4名の議員が町政を問う……………	P5
委員会を改選！ 編成が新しくなりました !!……………	P9

■ 9 月補正予算の状況■

会 計 名	補 正 額	総 予 算 額
一 般 会 計	1 億 4998 万 7 千円	66 億 403 万 1 千円
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	▲ 33 万 2 千円	13 億 9117 万 2 千円
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	691 万 4 千円	1 億 2378 万円
介 護 保 険 特 別 会 計	373 万 4 千円	8 億 1731 万 1 千円
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	62 万 7 千円	6536 万 2 千円
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	100 万 2 千円	4 億 1047 万 9 千円

普通交付税・地方特例交付金や臨時財政対策債、個人町民税の課税客体の確定や、子ども・子育て新システムの移行に向けた補正。また、8月の断続的集中豪雨による小規模災害復旧の補正など、1億4千998万7千円を増額し、総額を65億6千763万1千円とする補正予算を可決しました。

一般会計などの

補正予算を可決

第 3 回 定例会

第3回定例会を9月18日から19日までの2日間開催し、各会計の補正予算や子ども・子育て会議条例の制定などが議決されました。また、平成24年度各会計歳入歳出決算認定と企業会計決算認定が上程され、決算特別委員会に付託されました。一般質問は、4名の議員が町政について質問をしました。

答 問

予約型乗り合いタクシー登録者のほかに路線バスの利用者にもアンケートを行い、ニーズに合わせて検討していく。

土・日・祝祭日の運行を検討しては。

登録者は約700名いる。しかし、実際の利用者が少ないため、乗車率のアップを目指し、乗車した方だけでなく全登録者のアンケートを行う。

アンケートの実施は、乗車した方に日常的に実施してはどうか。

質 疑 点

答 問

現在、700名弱が登録している予約型乗合タクシーのアンケート調査を行うため、アンケートを送付するための通信運搬費11万2千円を追加補正しました。

予約型乗合タクシーの

アンケート調査を実施

答 問

電波の伝搬調査を行い、実施設計を行う際に必要に応じてアンケート調査を実施したい。

質 疑 点

超高速ブロードバンドで、市街地以外の無線により整備する地域の全住民に対する需要の調査は行うのか。

意見書を国などに

提出しました

地方財政の充実・強化を

求める意見書

地方財政計画・地交付税については国の政策方針のもとに一方的に決するべきではなく、国と地方の十分な協議を保障したうえで、そのあり方や総額について決定するための意見書です。

消費税増税中止を求める意見書

消費税はそもそも、低所得者ほど負担が重い税金であり、この状況下で税率を引き上げれば、国民の消費は落ち込み、税収も確保できなくなり、住民の暮らし、地域経済、地方自治体に深刻な打撃を与えることから、消費税増税の中止を求める意見書です。

道州制導入に断固反対する意見書

全国町村議会議長会は平成20年以来「住民自治の推進に逆行する道州制を行わないこと」を決議しているが、現在、衆議院内閣委員会において閉会中の審査となっている。道州制導入後の国の具体的な形が示されないまま期限を区切った導入ありきの内容である。道州制により再編されれば住民と行政との距離が格段と遠くなり、住民自治が衰退することは明白であり、効率性や経済性を優先し、住民を置き去りにする道州制の導入に断固反対する意見書です。

住宅リフォーム補助

件数増により予算を増額

当初の見込みを上回る件数となったため、100万円を増額し、事業費総額95万円とする補正予算を可決しました。



リフォーム前のトイレ



リフォーム後のトイレ

質 疑 か ら

当初の見込みより申し込みが上回り好調であるので、次年度以降も継続することはできないか。

要望など考慮しながら検討していく。

子ども子育て支援事業計画の

ニーズ調査費などを追加

平成24年8月に公布された子ども・子育て支援法に基づき、今後の子ども・子育て新システムへ移行するためのニーズ調査費や子ども・子育て会議の設置に必要な費用の240万2千円を追加補正しました。

町道改良舗装事業の

測量実施設計費を追加

町道3路線（北4条通り、本町5丁目2条通り、富町2丁目4番通り）を追加で改良舗装工事の実施設計を行うための費用1千10万円を追加補正しました。

今年度を実施設計を行い、来年度に工事着工する予定です。

区画整備や基盤整備などの 事業量の増により費用を増額

島津第2地区の古くなった排水路の整備と区画整備を新たに行うための167万4千円の追加と、西山地区、東中中央地区、東中南地区、東中幹線地区、島津地区の基盤整備などが国の大型補正により事業量が増化したため3千416万円を増額補正しました。



東中地区区画整備作業のようす

集中豪雨被害により

災害復旧費を増額

8月の断続的集中豪雨による河川や排水路、日の出公園の災害復旧費1千601万円を増額補正しました。

さらに、9月15・16日の集中豪雨による一般会計補正予算が議案に追加され、河川・道路・排水路の49カ所の災害復旧費3千640万円を可決しました。



被災したエバナマエホロカンベツ川

質 疑 か ら

同じところで災害が発生しており、復旧だけでなく、恒久的な対策を図れないか。

大きく地形を修正しなければならぬところもあり、全てで恒久対策は難しい。河川や排水路などは計画的に実施していく。

上富良野町立保育所

条例を廃止

上富良野町立保育所を平成26年4月1日から社会福祉法人 わかば会へ移譲するため、「上富良野町立保育所条例の廃止をする条例」を可決しました。（平成26年4月1日施行）

問 答

質 疑 か ら

町立の保育所がなくなるが、保育業務を行政が責任をもって担うことは必要なのか。
法により町の責務は定められており、今後とも責任をもって対応していく。

人事 案 件

副町長に田中利幸氏の選任に同意

平成25年9月30日で田浦孝道副町長が任期満了となるため、町長から提案のあった田中利幸氏の選任に同意しました。



田中 利幸氏 (57 歳)

昭和 51 年に札幌短期大学商業科を卒業。
昭和 53 年 1 月より上富良野町役場に勤務し、町民生活課長、総務課長を経て本年 10 月 1 日より副町長に就任。

上富良野町議会の議決すべき事件に関する条例を可決

議会の議決すべき事件として、市町村基本構想の策定義務については、地方自治法の一部改正にともない義務付けが廃止され、議会の議決の対象外とされました。しかし、上富良野町の自治基本条例において総合計画策定義務が課せられているため、これまでも同様、基本構想の策定変更及び廃止について議会の議決を得ることとしました。
また、定住自立圏形成協定を締結し、もしくは変更し、または、同協定の廃止にあっても、議会の議決を得る条例案が提案されました。

問 答

質 疑 か ら

定住自立圏形成協定の締結が市町村合併につながることはないか。

現在も連携している事務事業が基本であり、合併に直接結びつくものではない。

富良野市が中心市宣言をしたことで、必ず協定を結ばなければならないか。

広域連携の内容により、自治体間の合意によって締結するので、他町村や富良野市の意向によって左右されるものではない。

上富良野町税条例等を

一部改正

平成25年6月12日に地方税法施行令の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令がそれぞれ公布されたことにより、町税条例等の一部を改正しました。

主な内容として、個人住民税の金融所得課税等の一体化の見直しとして、金融商品に係る損益通算範囲の拡大と課税方式の変更。個人住民税の公的年金からの徴収制度の見直しとして、年金からの仮特別徴収税額を前年度分の個人住民税の2分の1に相当する額とするなどです。

上富良野町子ども・

子育て会議条例を可決

子ども・子育て支援法が平成24年改定。町としての事務処理や児童福祉の推進など必要事項の審議は子ども・子育て会議の設置により行うとするもの。（平成25年10月1日施行）

問 答

質 疑 か ら

会議にできるだけ多くの保護者を入れて、ニーズの掘り起こしを。

現時点では、15人中4～5人の保護者を想定しており、保護者の意向を重視していく。



村上 和子議員

福祉 福祉灯油事業に代わる 高齢者・障がい者等の施策は 今までの支援策を拡充する

村上議員 福祉灯油に代

わる施策として、今までの支援策を拡充するという案が出された。この生活支援策だと77万円かかる。財源にも限りがあるので、それが今一番見直しが必要に絞って灯油など冬の生活支援をしてはどうか。

向山町長 高齢者や障が

い者、子育て世帯などが住み慣れたこの町で生活できるように、これまでの支援策を拡充する内容の7事業のプランをまとめ

た。一部だけでなく一定

の幅は必要。政策調整会議、予算審議、議員などの意見を聞きながら、まだまだ詰めていく要素はある。

村上議員 介護保険も要

支援1・2は自治体対応に改正の方向であり、今回幅出しをして財源の都合で、後で縮小することにはならないと思う。この生活支援策は、公的な補助などは見込めるのか。向山町長 介護保険事業の動向は承知しており、

幅広く町民の皆さんに安心感を抱いていただけるよう考えたい。財源をほ

かに求められる可能性があるものは、積極的に取り組む。

安全確保のための通学路の 点検と子ども110番の啓蒙を 必要な改善行い、子ども達の 安全確保に努めたい

村上議員 先日、町内で

不審者情報が相次いで2件報告された。今一度、学校や生徒、PTAが一体となり通学路の再点検が必要ではないか。

また、子ども達が危険な目に遭遇した場合、駆け込む子ども110番のマップは小

学校入学時に配布している。なくすこともあるので、随時子ども110番の啓蒙をしては。

向山町長 先

日の不審者情



下校のようすと子ども110番の旗

者も子どもと歩いて110番の家を確認している。都

度点検を行い、子どもの安全を確保していく。

自衛隊官舎使用料 値上げの阻止を 到底容認できない 要望活動する

村上議員 国家公務員宿

舎の削減計画に基づき26年4月から自衛隊官舎の使用料を2倍に見直す方針が明らかになった。

値上げになれば官舎から出ていく人が多くなり、経済的にも駐屯地としても任務遂行に影響があり、町としても値上げにならない対策を考えてはどうか。

向山町長 自衛隊官舎の

実態は、本年6月現在18世帯が入居、入居率が77%であると聞いている。使用料が2倍になれば近隣都市の民間マンションへ居住が加速し、災害発生時の即応体制にも問題があり、経済的影響は極めて重大、宿舍使用料の



その他の質問

Q 上富良野町のプランDの評価が高く、これを活かした観光客の集客をA 実施体制と戦略プランを示した。これに基づき積極的に集客アップを図っていききたい。



米沢 義英 議員

育 体罰の根絶を

教 体罰再発防止を徹底したい

米沢議員 7月に上富良

野小学校で、児童に対して先生が平手で左頭部横を叩くという体罰が発生した。過去にも体罰はあったのか。また、体罰を無くすための学校及び教育委員会での取り組みは。

体罰を受けた児童とその保護者に謝罪申し上げるとともに、学校全体の児童と保護者に対しても不安や不信感を与えたことにお詫びをしたい。

服部教育長 教育委員会

では、日頃より校長会や教頭会の会議の折に教職員の服務に関し、指導を行っていた。その中で体罰が起きたことに対して、誠に遺憾なことであり、



体罰発生後、校長と教頭、教育委員会の職員2名と体罰を起こした先生が保護者宅を訪問し児童とその両親に面会し、謝罪させていただいた。今回の体罰発生前にも体罰があり、体罰を起こした先生

については、児童の担任から外し、体罰根絶に向けた決意を校内の全教職員で確認した。体罰は絶対許されない行為であり、再発防止への指導を徹底したい。

社 障がい者施設の 物品の調達などを 推進したい

米沢議員 就労支援事業

などを実施している障がい者施設では、就労者の恒常的な仕事の確保に苦慮をしている。支援策を検討すべきでは。

向山町長 就労支援事業

業所それぞれの施設において、障がい者の個性に合わせた福祉就労のメニューが提供されている。しかし、恒常的な仕事の確保が課題であると伺っている。平成25年4月から「国等による障害者就労施設からの物品等の調達



障がい者授産施設の「なないろニカラ」

護 介護保険制度改定は利用者の 制限に繋がるのでは 改正される内容を見て 対応したい

米沢議員 平成27年度から

の介護保険制度改定案では、要支援事業が国から市町村の事業に移行され、特別養護老人ホーム利用料の見直しや入所基準を要介護3以上にするなど、介護サービスの低下や利用者の制限につながるのでは。

向山町長 要支援の市町村

事業の移行は、これまでの全国一律のサービスから、市町村の裁量により地域の実情に応じたサービスへ移行されていくものと受け止めており、サービスが低下しな

業障がい者などから物品やサービス優先的、積極的に購入するため、毎年度その調達方針を作成し、対応していくことになった。町でも目標額と調達方針をまとめたところであり、優先的に物品などの調達を図り、障がい者の恒常的な就労の確保などについても検討したい。





岩崎 治男 議員

光 早急に物産館の設置を 成熟度が高まったら 適切に判断したい

岩崎議員 近年、国内はもとより、海外からの観光客の入り込みが増加している。町特有のお土産など、展示販売する物産館を早急に作るべきではないか。

民間業者や関係機関による気運の成熟度が高まってきた際には、適切に判断したい。

向山町長 物産館は特産品の販売だけでなく、地域情報を発信する場として有効な施設だと認識している。観光振興計画の戦力プランなどの具体策の検討や実践などを通じ施設の整備に必要な環境が整い、



役場正面玄関に展示してある特産品

設 上富良野小学校 改築工事の進捗状況は

建 進捗率は全体計画の約10%

岩崎議員

町民の待望であつた上富良野小学校の改築工事が着工された。

校舎解体、新校舎建設の進捗状況は。

向山町長

本年4月に発注した校舎解体と仮設校舎建設をはじめとして7月から建設主体工事、電気設備、地中熱整備及び空調設備、衛生設備工事の4工種区分により26年度中の竣工、引き渡しをめざして進められている。

来年の夏休みに引越しを行い、2学期からは新校舎で授業を行う予定。



上富良野小学校改築工事のようす

また、地中熱設備では今年度に行う44本のボーリングのうち現在は16本目を掘削中。全体計画の約10%となっており、平成27年度までにはすべての工事を完了する予定。

岩崎議員

地中熱ヒートポンプは新しい熱利用の設備として脚光を帯びる

ものど期待している。44本のボーリングによってどのくらいの水量と温度が確保されるのか。

北向建設水道課長

ヒー

トポンプは温水をくみ上げて使うものではない。熱を採取する施設となっている。昨年の熱応答試験では11度の不凍液を送り、25度で回収する安定した熱源であることが確認された。これらを使う

た熱源としてヒートポンプを運用する。

おしえて!!

『地中熱ヒートポンプ』ってな～に？
地中にパイプを入れ、その中で不凍液を循環させ、熱を集める設備のこと。
冬は地中から熱を吸収して暖房などに、夏は熱を地中に放出して冷房に利用します。

設 工事現場での 騒音・消音対策は

建 一定の静穏施工の実施を

岩崎議員

上小校舎建設

には地区住民はもう手を挙げて賛同し、理解を示している。しかし、予想以上の工事音が近隣の住宅まで聞こえている。これらに対する騒音・消音対策は。

向山町長

周辺地域や学校授業に支障が出ないよう、遮音を兼ねた3メートルの仮囲いを設置して

いる。また、大きな作業音が発生する解体工事では防音シートで作業部分を囲み、外部に漏れる騒音を小さくする配慮をした。しかし、騒音が気になるのと声が寄せられ、住宅に面した部分の防音シートを継ぎ足すなどの改善を図った。さらなる改善を探り、ご理解とご協力のもと施工したい。



中澤 良隆 議員

健康の町宣言を

健康 12月議会会で宣言する予定

中澤議員 健康の町宣言

が予定されている。それは、いつ、どんな方法で宣言をするのか。

また、「健康」の定義は。

向山町長 12月定例町議会に宣言を予定し、年明けには講演会などの記念事業を計画している。

また、「健康」の考え方は、心も体も活き活きと生活できる期間である「健康寿命」を延ばしたいと考えている。

中澤議員 健康寿命の延長は行政の横の連携が重

いつ行うのか

要と考える。健康づくりを一体化した「健康づくり課」などの組織を検討しては。

また、住民会や町内会に「健康づくり推進員」をおき、町民と一緒に進める考えはないか伺う。

向山町長 健康にかかわる部署がそれぞれ単独に取り組むのではなく連携を図ることは必要だと考える。し



かし、健康づくり課の設置などについては、今後、状況を見定めていきたい。また、モデル的な地域設定なりを行い集中的に取り組むことも一つの方法と考えている。

中澤議員 今まで、交通安全都市宣言など多くの宣言が行われてきている。今回の宣言にあわせ健康に関心を持ってもらうためにも「健康の町宣言」の日を記念日として未来永劫忘れることのないような取り組みをしてはどうか。

向山町長

「健康の日」を定めるかどうかは、いま、そうしよう、あるいはそうしないという考えは持

介護保険改定に向けて 早急な対策を

介護 介護保険改定に向けて 早急な対策を

介護 介護保険改定に向けて 早急な対策を

中澤議員

国は介護保険制度の改定を検討しており、いち早い準備と対策をとらなければならない。そのための町の取り組みを伺う。

介護度の低い要支援1

と2の方が保険給付の対象から切り離され市町村の事業となる。今後の取り組みは、①特養の入所要件が要介護度3以上となる。どのような影響が出るのか。②一定以上の所得がある方は、自己負担が1割から2割になる。現在、サービスを受けている方の現状はどうなるのか。

向山町長 要支援1と2が市町村に移行されるこ

ち合わせていない。宣言の時までに皆さんからのご意見を伺い判断をしていきたい。

とは、地域全体で支えあう仕組みづくりが重要だと考えている。そのためにはNPO法人やボランティア活動をさらに充実していく。

次に、ラベンダーハイ

ツへの入所の状況は、ほとんどの入所者が要介護度3以上であるため大きな影響を受けることはないと考えている。

また②の改定も、サービスを受けている方の現状から影響は少な



いと認識している。

中澤議員

改定案では、施設福祉から在宅福祉重視へ移行する。それによる在宅福祉メニューやサービスの提供体制は十分か伺う。

向山町長

住みなれた地域で安心して暮らせるよう在宅福祉サービスの充実が重要な課題と受け止めている。今まで実施してきた在宅福祉サービスを継続するとともに、必要な見直しと更なる推進を図りたい。

委員会構成が替わりました!!

議会議員選挙から2年が経過し、委員会の任期が2年のため9月12日の全員協議会で選挙を行い、第3回定例会において議長より選任されました。

- | | | | |
|------------|----|------------|----|
| ・総務産建常任委員会 | 7名 | ・厚生文教常任委員会 | 7名 |
| ・議会運営委員会 | 6名 | ・議会広報特別委員会 | 6名 |
| ・民生委員推薦会委員 | 1名 | ・都市計画審議会委員 | 2名 |
| ・表彰審査委員会委員 | 3名 | ・議員会役員 | 5名 |

委員長
副委員長
委員

岡本 康裕
村上和
小野忠
米沢義
徳良弘
谷武昭
西村教



総務産建常任委員会

◆◆委員長からのコメント◆◆

常任委員会の使命であります、行政に関することや、まちづくりに関しまして、町民皆様の目線に立ち、調査・審査を行ってまいりたいと考えています。

特に、調査事項の実態を把握し、分析し検討して問題点をとらえ、それらの問題点を改善するにはどのような措置を講じればよいのか、採るべき対策・政策を究明して結論を出し、問題点に対する改善策と対応策を出すことが、上富良野町及び町民の福祉に資するという観点に立ち、町の第5次総合計画にあります「住んでいて良かった、これからも住み続けたいまち上富良野」を体現すべく町民の皆様の意見に耳を傾けながら委員会を運営していく所存であります。

よろしくお願いいたします。

厚生文教常任委員会



委員長
副委員長
委員

金子 益三
中澤 良隆
佐川 典子
中村 有秀
岩崎 治男
今村 辰義
長谷川 徳行

◆◆委員長からのコメント◆◆

この度、厚生文教常任委員長の任を拝命いたしました。

私達の委員会は、子育て、教育、病院、保健福祉、介護等の町民生活に密接に関わる分野を担当いたします。

わが町も少子高齢化の影響を受けて、現在高齢化率は27%を超え、4人に1人が高齢者です。町民の皆様がこれからも健康で安心して上富良野町で暮らしていただけるために、今期のテーマの一つに健康寿命の延伸を取り上げました。

今後も、限られた町財政の中で多様化する住民の要望に応えられるように一層の創意工夫が求められる中、委員一同知恵を出して取り組んで参りますので、町民皆様の温かいご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議会運営委員会



委員長
今村 辰義
副委員長
谷 忠
委員
米沢 義英
金子 益三
岩崎 治男
岡本 康裕

◆◆委員長からのコメント◆◆

議会運営委員会は議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項を所掌します。議会運営委員会の特徴は、委員会で決定し、本会議で議決をしなければならないといったものは数が少ないのではないかと考えます。議運で協議するに当たっては、議会の最高責任者である議長の意を体して尊重することが肝要であるとともに、議員の理解と納得、協力を得られるような決定をすることを議会運営委員会運営の基本としなければならぬと考えています。

議会広報特別委員会



委員長 村上 和子
副委員長 中澤 良隆
委員 佐川 典子
米沢 義英
徳武 良弘
中村 有秀

◆◆委員長からのコメント◆◆

上富良野町議会では特別委員会として議会広報特別委員会を設置しています。この度、議会広報特別委員会にこの6人のメンバーが決まりました。仕事の内容は議会広報の編集と発行（年4回）です。それぞれ委員会で役割分担を決め、記事のレイアウト・編集に取り組みます。いかに読んでいただけるかわかりやすく魅力ある議会広報誌づくりに頑張つてまいりますので、よろしくお願いたします。

議会役員



会長 米沢 義英
副会長 徳武 良弘
理事 小野 忠
監事 佐川 典子
中村 有秀

◆◆会長からのコメント◆◆

上富良野町議会議員会は、議員相互の親睦と研鑽のために設立されています。これからの2年間は会員相互の親睦と町政振興のために関する調査研究を進め、識見を高めるような事業ができればと考えています。

○●○民生委員推薦委員○●○



米沢 義英議員

○●○都市計画審議会委員○●○



中村 有秀議員

○●○表彰審査委員会委員○●○



谷 忠議員



西村 昭教議員



長谷川徳行副議長



岡本 康裕議員

議会の うづき

7月22日	南幌町議会視察来町 (総務・産業経済常任委員会)
8月1日	長野県駒ヶ根市議会視察来町 (会派 あかつき)
28日	中札内村議会視察来町 (総務常任委員会)
29日	和歌山県白浜町議会視察来町 (総務観光常任委員会)
9月2日	議会運営委員会 厚生文教常任委員会 総務産建常任委員会 議会運営委員会 全員協議会
10日	議会広報特別委員会 第3回定例会(1日目)
11日	町内行政調査
12日	厚生文教常任委員会 決算特別委員会(1日目)
18日	決算特別委員会(2日目)
19日	決算特別委員会(3日目)
30日	厚生文教常任委員会 総務産建常任委員会 議会広報特別委員会
10月2日	議会広報特別委員会
3日	決算特別委員会(1日目)
4日	決算特別委員会(2日目)
10日	決算特別委員会(3日目)
11日	議会広報特別委員会
16日	議会広報特別委員会

◆南幌町議会が来町◆



7月22日に南幌町議会(総務・産業経済常任委員会)が「町立病院の経営改善取り組み」について調査するため来町しました。

◆長野県駒ヶ根市議会が来町◆



8月1日に長野県駒ヶ根市議会の会派(あかつき)が「かみふらの景観づくり条例」について調査するため来町しました。

◆中札内村議会が来町◆



8月28日に中札内村議会(総務常任委員会)が「特定健診受診率向上の取組み」、「保健指導の状況」について調査するため来町しました。

◆和歌山県白浜町議会が来町◆



8月29日に和歌山県白浜町議会(総務観光常任委員会)が「町税滞納者に対する行政サービスの制限措置の取り組み」について調査するため来町しました。

◆公共工事の状況などを視察◆



9月30日に「町内行政調査」を実施し、14名の議員が出席しました。郷土館の屋根・外壁改修工事や8月と9月に発生した集中豪雨の被災箇所、泉町南団地の建替え工事、日の出公園のランダー植え替え現場、上富良野小学校改築工事現場など合わせて16カ所で担当課長などから説明を受け、視察調査しました。

また、緑町町営住宅跡地に開設された北の峯学園上富良野事業所の施設見学を行い、担当職員から説明を受けました。

あとがき

■あの猛暑からいつの間にか秋の気配を感じる頃となりました。秋は何と言っても食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋、収穫の秋。皆さんはどの秋を満喫されますか？スポーツといえば2020年に東京でオリンピックが実に56年ぶりに開催されることに決まりました。経済効果は3兆10兆と言われています。どんなオリンピックになるのか楽しみです。

■春先の天候不順から作柄を心配していました。しかし、農業委員の方と一緒に農作物作況調査に参加させていただいたところ、少しの被害でまずまずの作柄でほっといたしました。

■議会も選挙から2年が過ぎ、所管委員会編成替えがありました。広報委員も新しいメンバーとなりました。このメンバーでできるだけわかりやすく皆様に読んでいただける議会だよりづくりに努力してまいりますので、ぜひご愛読のほどよろしくお願いいたします。

(村上 記)

議会広報特別委員会



委員 長	村上 和子
副委員長	中澤 良隆
委員	佐川 典子
	米沢 義英
	徳武 良弘
	中村 有秀